

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
鹿児島県美容専門学校	平成11年7月7日	小松 重孝	〒890-0063 鹿児島市鴨池2丁目4番6号 (電話) 099-254-3117			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
鹿児島県美容生活衛生同業組合	昭和32年12月9日	谷上 司	〒890-0063 鹿児島市鴨池2丁目4番6号 (電話) 099-254-3117			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士		
衛生	衛生専門課程	美容学科	平成14年2月17日 文部科学省告示	-		
学科の目的	教育基本法及び学校教育法並びに美容師法に基づき美容に関する知識技能を習得させ、教養と品位ある有能な美容師を養成する。					
認定年月日	平成28年2月19日					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技
2年	2010時間	790時間	0時間	1220時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人	201人	0人	9人	8人	17人	
学期制度	■1学期:4月1日～8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日		成績評価 ■成績表:有 ■成績評価の基準・方法 各期末に試験を実施し、評価基準に基づいて評価			
長期休み	■学年始:4月1日～4月2日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月17日～3月31日		卒業・進級条件 ・出席率90% ・各課目合格判定基準を満たした者を進級及び卒業を認める			
学修支援等	■クラス担任制:有 ■個別相談・指導等の対応 外部心理カウンセラーの個別相談の活用(年15回) 学期はじめの個別教育相談		課外活動 ■課外活動の種類 全国理容美容学生技術大会参加 ボランティア活動(キッズフェスタ、赤十字、高校ドレスショー、養護施設など)ヘアメイクのセット ■サークル活動:有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 美容業界(各種サロン等)		主な学修成果(資格・検定等)※3 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
	■就職指導内容 就職先斡旋・美容業界(県内、県外)求人 毎年600件以上就職ガイダンスを会場を借りて3日間実施、サロン見学会実施 ■卒業生数:92人 ■就職希望者数:88人 ■就職者数:88人 ■就職率:100% ■卒業生に占める就職者の割合:95% ■その他 ・進学者数:0人					
中途退学の現状	■中途退学者 11名 令和2年4月1日時点において、在学者181名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者170名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ・職業に対する意識変化・生活環境の変化等一身上の都合 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・外部心理カウンセラーの活用(15回/年) ・学期ごとの教育相談により意識変化の把握に努める		■中退率 6%			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度:有 ※有の場合、制度内容を記入 ・AO入試特待生制度・推薦入試特待生制度・鹿児島県美容組合子供特待生制度・離島特待生制度 ・下宿生家賃補助制度 ■専門実践教育訓練給付:非給付対象(申請者なし) ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 長期高度人材育成コース(10名在籍)					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)					
当該学科のホームページURL	URL:http://kakenbi.jp/					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。